

ポーラ・オルビスグループ、「国連グローバル・コンパクト」に加盟 「健全なグローバル化」と「持続可能な社会」の実現に向けて取組むことを宣言

株式会社ポーラ・オルビスホールディングス(本社:東京都中央区、社長:鈴木郷史)は、世界中の人々に彩りある人生を提案するために、「国連グローバル・コンパクト」*を支持し、2017年2月に「国連グローバル・コンパクト」に加盟しました。

当社は、グローバル・コンパクトが企業に対して要請する4分野(人権、労働基準、環境、腐敗防止)に関わるCSRの10原則を遵守し実践していきます。

【※グローバルコンパクトとは】

国連の事務総長室傘下の組織の1つで、国連の目的達成を促す組織でCSRに関する世界最大のイニシアティブです。現在160カ国14341団体(うち企業が9030社)が加入しています(日本国内は2016年9月現在で約230企業、9団体)。

国連グローバル・コンパクトが提唱する4分野10原則は以下のとおりです。

■人権

- 原則1: 企業は、国際的に宣言されている人権の保護を支持、尊重すべきである
- 原則2: 企業は、自らが人権侵害に加担しないよう確保すべきである

■労働

- 原則3: 企業は、結社の自由と団体交渉の実効的な承認を支持すべきである
- 原則4: 企業は、あらゆる形態の強制労働の撤廃を支持すべきである
- 原則5: 企業は、児童労働の実効的な廃止を支持すべきである
- 原則6: 企業は、雇用と職業における差別の撤廃を支持すべきである

■環境

- 原則7: 企業は、環境上の課題に対する予防原則的アプローチを支持すべきである
- 原則8: 企業は、環境に関するより大きな責任を率先して引き受けるべきである
- 原則9: 企業は、環境に優しい技術の開発と普及を奨励すべきである

■腐敗防止

- 原則10: 企業は、強要と贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗の防止に取り組むべきである

グローバル・コンパクトのHPはこちらです↓

<http://www.po-holdings.co.jp/csr/responsibility/global/index.html>